

連載 防災マニュアルは心の中に！

『地域豊醸化に関わる風の人・土の人・水の人・光の人・火の人からまちづくりを考える』最終回。このシリーズでは、人々が住みやすくイキイキと暮らせるような地域を創る地域豊醸化を説明してきました。

どの地域にも「土・水・風・光・火の人」がいます。土の人は、地に足をつけて温め地域に根ざした人。水の方は、蒔いた種に水をあげる人。風の方は、外の地域から理想の種を運び、地域内の止まった空気を動かし芽生えたものに刺激を与えるアーティスト的な人。



光の方は、地域の中では当たり前すぎて普通になっているモノに光をあて地域外へ発信するメディア的な人。火の方は、パティシエやシェフのように実った作物を見栄えを良く、そして吸収しやすいように変える料理人的な人。これらの人が損得勘定や利益の為ではなく、地域のことを本気で考え行動することを目的した「地域豊醸化プロジェクトチーム」を形成することで地域が豊醸化するといわれています。

ところが実際はそう簡単な話ではありません。「風の人」は一カ所に止まることがない。「土の人」は外からのモノをまったく受け付けない人もいます。「水の人」は、勢いはあるが自分の思いだけで突っ走り他者とぶつかることも多い。では？どうしたらいいのでしょうか。それは「ディレクター（監督・演出家）」の存在の有無で大きく違ってきます。

「風、土、水、光、火」それぞれがパワーのある個性を持った人たちです。それぞれの得意なポジションで活躍してもらうには、様々な視点でモノやコトも含めて地域をまとめていく人の存在が必要となります。この人達はどんな仕事にも通じる役目を持ち合わせ、代わりに仕事を担うことのできるスキルを持つ人のことです。いくら素晴らしいチームでも、バラバラでは力は発揮できません。うまくコーディネートする人の存在が、地域豊醸化の行方を左右します。このディレクターは、最先端の感覚を持ち、常に新しい考え方を手に入れているかによって違ってきます。そのディレクターは地域の各部門に存在すれば理想的な形となり、行き詰まっているテーマに新しいセンスや発想をプラスさせて課題を解決し豊醸化させることができます。



例えば、防災訓練は大切な身を守る社会的に必須の学びですが、どうしても敬遠されがちです。やはり楽しさやワクワク感がなければ、多くの方は関心を持たないのです。ところが興味をそそる美味しい備蓄品があり、尚かつその備蓄品を食べることで他の地域にも

防災貢献できるという備蓄品がもれなくもらえるとなれば「防災力アップ+貢献」という大義名分で参加意欲もそそられます。ここには人の心に自主性以上の主体性や共感を誘う「自分の行動が役立つ」という、知らず知らずのうちに防災を自ら学んでいく仕組みがプランニングできます。このプランニングは防災訓練を「やらされてる・強制参加」ではなく、「やりたい・参加したい」という意識を方向付けるもので「防災訓練をする意味」にも大きく影響します。防災訓練もデザイナー的な人、クリエイター的な人、エンターテナー的な人が持つ「継続することで育まれた知識と向上したスキル」+「消防隊」というスペシャリストによって防災訓練のクオリティもコントロールできます。

でも完全なものは必要ありません。「不完全で良いのです！」完全にできあがったものは、地域住民に「やらされている感」を与え、自分のものになり得ないのです。プランニングの中に少し「スキ」をつくっておくようにするのは。ただし、同時にそのプランには一定の強度がなければなりません。

『地域のイベントや訓練では、ルールを完全に決めず、地域住民が自分たちで好きなようにカスタマイズできるようにしながら、コアとなる仕組み自体は非常に楽しかったり、感動的であったり、非日常的なことであったりする。強度がありつつも、変わりやすく、境界部分がとても緩くつくられている。そんなプランが後々必ず地域に根付く。まちづくりは誰の為のものなのか、自分の役割はどうあるべきかを常に考え、前に出すぎず自分の立ち位置に作法をもって取り組むことが大切』と、“情熱大陸”や“世界一受けたい授業”にも出演した「防災をアートに変える天才プロデューサー」永田宏和さんは語る。更に永田さんは『強度のある優れたコンテンツをいくら用意しても、たった1人が欠けるだけですぐに崩れる。地域にも住民にも、自分事としてのリアリティのないまちづくりは脆いもの』と苦言も呈されています。

完全に決められた役割分担やルールづくりは、地域の方が運営として入る余地がなくなるシステムをつくり、継続性も欠け、更には一番やってはいけない「楽しさ自体も奪い取る」といった傲慢で、太古から向上していない不要な過去の遺物となるのです。入り込む余地のある「不完全」の状態が、地域住民が関われる状況を生みだし、やがてそれは住民自身のものになります。「不完全プランニング」こそが、災害や犯罪に強く、笑顔の溢れる楽しいまちづくりとなります。地域みんなで既成概念にとらわれない地域豊醸化プロジェクト「不完全プランニング」をやりましょう。

3月24日は防災訓練です。
あなたも参加してみませんか？

